

(共同リリース)

2025年2月26日
名取市
日本航空株式会社 東北支社

名取市とJAL、企業版ふるさと納税事業で周遊チャーターフライトを実施 ～地域の魅力を発信し、ヒト・モノの交流による地域活性化に貢献します～

宮城県名取市(市長:山田司郎、以下「名取市」と日本航空株式会社 東北支社(支社長:佐野寛人、以下「JAL」)は、2023年7月に包括連携協定を締結し、相互の連携強化と地域活性化を円滑に推進してまいりました。このたび、名取市が実施する企業版ふるさと納税事業の一環として、3月2日に周遊チャーターフライトを共同で実施します。



企業版ふるさと納税事業は、企業が地方自治体に寄付を行うことで、地域の活性化や社会貢献を支援する制度で、名取市はこの制度を活用し、地域活性化と観光振興を図るプロジェクトを推進しています。

JALは、東北の空の玄関口である仙台空港の活用と、子育て教育先進都市を目指したまちづくり、将来を担う子どもたちへの学習機会を提供する名取市の事業に賛同し、仙台空港周遊チャーターフライトを実施します。

本取り組みを通して、名取市とJALは双方が保有する物的・人的・知的資源を有効活用し、「空港を生かしたまちづくり」を推進するため、持続可能な地域社会の形成および地域全体の活性化に取り組んでまいります。

【「仙台空港周遊チャーターフライト」概要】

次代を担い活躍する人材の育成に力を入れている名取市と共に、名取市在住の子どもたちをご招待する周遊チャーターを実施します。名取市の魅力勉強会や機内での航空教室を通じて、将来を担う子どもたちの育成に貢献します。

実施日：2025年3月2日(日)
運航会社：株式会社ジェイエア
使用機材：エンブラエル170型機
参加人数：約50名(名取市内在住の小学1～6年生)
体験内容(一例)：

- ・名取市の魅力勉強会
- ・空港見学(チェックインカウンター、ソーティングエリア、搭乗口、ランプ見学)
- ・遊覧飛行
- ・乗務員による機内での航空教室

場 所：仙台空港



※イメージ

以上